

58 非防爆機器の使用による火災について

- 1 タバコなどの裸火はもちろん、後付けの固定式の電気機器、移動式の電気機器は要注意！照明器具、電動工具も防爆確認していますか？



夏：クーラー、扇風機

冬：暖房機器



- 2 電気器具の接続の緩みや機器の劣化も確認しましょう*

- 3 危険物取扱者は責任を自覚！しっかり確認、判断を！



- 4 保安教育を計画的に行い、危険箇所、危険行動の共有を！

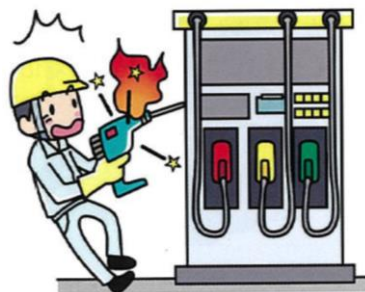
- ・自分が働いている事業所の可燃性の液体が漏れたり、可燃性液体の蒸気が滞留するおそれのある場所とは？
- ・事業所内の全員が一体となって施設の保安に努めましょう！

県内事故事例（令和4年）

屋内貯蔵所内（貯蔵所内の電気機器は全て防爆仕様）で夏の熱中症対策のため、スポットクーラーを防爆仕様について確認せず使用していたところ、火災が発生した。

全国事故事例

固定給油設備の点検作業員がインパクトドライバーによりネジを緩めていたところ、インパクトドライバーのモーター部から発生した電気火花により固定給油設備内に滞留する可燃性蒸気に引火した。この火災により作業員の着衣及びインパクトドライバーが焼損し、作業員が熱傷により負傷した。*



*「貯蔵・取扱い基準から学ぶ危険物取扱者・作業従事者のための事故防止チェックリスト」（（一財）全国危険物安全協会）から一部抜粋